

## 2026 ULTRA PROJECT

# BYEDIT | 多田智美・竹内厚

### ■プロジェクト内容（予定）

さまざまな人の知恵や技術を掛け合わせて何かを生み出していくことは、編集の力のひとつです。BYEDITは、「編集」の力を使いながら、ウルトラファクトリーから新たなメディアを立ち上げるプロジェクトです。1年間ゆるゆると編集会議をしながら、「メディアをつくる」「出来事をつくる」を実践していきます。加えて、ウルトラファクトリーの機関紙となる『THE ULTRA』の編集・制作を担当。過去には4か国語表記や、すべて開けばA0判型（長辺1m以上!）となる巨大な紙面、ファクトリーを活用したファッション写真撮影などの企画を実現しましたが、今年度の編集方針、企画案などは集まった学生と編集会議を重ねた上で決定します。

実施期間 2026年5月～2027年2月

活動場所 ウルトラファクトリーを中心に

活動日 毎週1回[木曜を予定]

18:00～20:00の編集会議を軸に活動します

### ■スケジュール

4月13日（月） エントリー〆切（17時まで）

4月16日（木） 17:30～ 面談（申込者全員）@Zoom

4月27日（月） 選考結果をメールにて連絡

5月14日（木） 18:00～ キックオフミーティング@ウルトラファクトリー

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、各日スケジュールは空けておいてください。

### ■単位認定

あり

※通年の活動参加で、プロジェクト演習科目/ウルトラ・プロジェクト1（準正課）2単位を申請予定

※大学院生の単位認定は、スチューデント・オフィス（大学院担当）よりお知らせします。

### ■募集人数

10名程度

### ■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機/自己PR）を入力し、応募してください。別途、「今、気になってる人25人を列挙ください。（有名無名は問いません。また、その理由までは書く必要はありません。書式自由）」を応募締切 [4/13（月）17時] までにデータまたは用紙にて提出してください。データで提出の場合は下記のメールアドレスへ送付、用紙の場合はウルトラオフィス（至誠館4階）まで持参ください。書類選考を経て、ディレクターとの面談、キックオフミーティングを行います。

※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

### ■お問い合わせ

不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（徳山・翁長）まで。

TEL 075-791-8482 Email [ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp](mailto:ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp)

## ■ 今年のBYEDITどんな感じにやりますか～という話

…これまでのBYEDITで行ってきた編集の実験を振り返りつつ、今年度をどう進めるか、ふたりのディレクターが相談しました。

### □ これまでBYEDITでやってきた編集の実験

#### 紙メディア

##### 対談の実施と文庫本の形での記録

思いがけない顔合わせによる対談を企画して、1冊の文庫本に。 | 「BYEDIT BOOK」

##### 辞書のフォーマットを借りた自己紹介

自分を構成するもの、気になってるものや好きなもの嫌いなもの、口癖などを辞書形式でまとめることで、赤の他人でも興味を持ってどこからでも読める紙メディアに。 | 「いきじびき」

##### 子どものころの創作物からメディアをつくる

芸大生が子どものころに描いていた絵や日記、提出物などを集約して冊子化。ただ思い出として掲載するのではなく、今の目線でツッコミを足していくことで誰もが読めるものに | 「ハリセンもって会いに行く」

『人間失格』『注文の多い料理店』をお題に音楽を選曲してもらってつくるZINE

#### イベント

##### トークイベントと同時進行で複数の制作が進むイベント

壇上でのトークイベントにあわせて、副音声のようにいくつかの制作も同時進行。料理、ロゴ考案、テーマ音楽づくり、スケッチ……イベントの最後にはその成果物をみんなで共有する。 | オッス！編集

##### 名物編集者・伊藤ガビン『はじめての老い』刊行イベント

##### ヤノベケンジさんの還暦を盛大に祝うイベント

##### CLUB METROでの音楽本のフェスをお手伝い

インタビューをして  
激レアさん形式でまとめてみる  
溜まるばかりのアーカイブを編集して削ぎ落とすのではなく、まずはすべて視覚化して貼り出してみる。たとえば紙メディアのバックナンバーを全ページ掲示してみることに挑戦。  
に、インタビューの新しいまとめ方に挑戦。

#### アーカイブの張り出し

フリップ芸を活用したある物事の紹介  
フリップ芸のフォーマット（大きめの横書き画面紙をめぐっていくスタイル）を使っての発表、報告。氾濫するパワーポイントによる発表へのカウンターとしても。

#### その他メディア

議事録代わりに音声収録  
編集会議やその日の活動記録をテキストで記録する代わりに、出来事が終わったその場で何人かで振り返りつつ話しをして、ラジオ番組的に収録。その音声共有をもって議事録の代わりにする。 | 「BYEDIT RADIO AM/FM」

#### ひとりしゃべりラジオをリレー形式で

複数のルール（収録時間、冒頭に話すこと、締め話すこと……など）のもと、学生がひとり話すラジオ音声収録。リレー形式でつなぐことで番組化！ | 「エディのカップラーメンタイム」

#### 出来事

##### ラップで説明書

ラッパーによる1日WSで、ウルトラファクトリーの機材説明をラップ化。最後にパフォーマンスとして披露するとともにMVとして記録。

##### 1日で即興芝居をつくってその場を開く

ウルトラファクトリーで殺人事件が起きた、の設定だけを準備して、演劇人とともに1日WSで芝居をつくる。

##### 長澤花咲さんをゲストに向けたポケットティッシュワークショップ

### □ 今年こんなことをやってみる!?

- ・多田が共同代表を務める出版社どく社と一緒にZINEをつくってみる？ 多田が企画運営するウェブメディアpaperCとなにかやる？
- ・CONER PRINTING SELF北加賀屋店さん、イラストレーターの鈴木裕之さんと一緒に「つくれる環境」を生かしたイベントやる？
- ・真面目なインタビューや対話をどう伝えるかの一方法として、人形劇や“シュールなVTuber”のようなやり方（見え方の再編集）を試みる？
- ・”ひとりしゃべりラジオ”をウルトラプロジェクトの全メンバーにまわすための方法論を考える？ ・BYEDITの編集技術をまとめてみる？ ・バンドもやってみたい！
- ・バイリンガルマガジン『THE ULTRA』を企画・編集する!!!

※続きは、学生のみなさんともBYEDIT編集会議で……👏



magazine all about the ULTRA FACTORY vol.03 Issue 2011

# THE ULTRA

CONTENTS  
ULTRA PROJECT DIRECTOR INTERVIEW  
—KOUICHI MAWA—  
ULTRA JAPAN  
ULTRA AWARD 2010 REVIEW  
ULTRA G FOR ULTRA STUDENT PROJECT PICK UP  
ULTRA REVIEW ABOUT ULTRA FACTORY



# THE ULTRA

A magazine all about the ULTRA FACTORY

# NEW FLOOR NEW FLOOR!



2019年、ULTRA FACTORYの新工事が本格始動する。そこで今回の「THE ULTRA」では、いままではまた変化した新たなULTRA FACTORYを紹介していく。新工場の立ち上げから完成までの経路に加え、これから目指す新工場の未来の形。そして今後、新工場で制作された作品や新たに取入れられた機材など、様々な視点から新工場がとらえられている。新しい一歩を踏み出したULTRA FACTORY。そこで新しい一歩を踏み出してもらいたい。

In 2019, Ultra Factory opened a new studio. In this issue of "THE ULTRA," we will introduce this newly transformed Ultra Factory. On top of episodes from the new studio's start-up to finish, we will also look at the new studio's aims for the future. Finally, we will introduce how the new studio is used from multiple viewpoints such as what works were made there and the newly installed equipment. A new step for Ultra Factory - we hope you too can take a new step forward.

# 11

vol.11 Issue 2019

# THE ULTRA

A magazine all about the ULTRA FACTORY

vol.10 issue 2018

ULTRA FACTORYのご機材までとこれからを考えるために  
ULTRA FACTORY



# THE ULTRA

vol.06 Issue 2014

IMPRESSIVE WORDS FROM ULTRA FACTORY 2013  
ULTRA PROJECT 2013  
ULTRA INTERVIEW  
—MIWA YASUHI—  
ULTRA DIALOGUE  
—YUMI HANADA—  
—KOHJI NAKA—  
—GRABBY LIFE BOJO—

# THE ULTRA

vol.08 Issue 2016

SEBASTIAN MASUDA  
REVIEW  
SUB



THE ULTRA  
vol.07 Issue 2015

CONTENTS  
A DENKI FA  
FACTORY  
ULTRA FAC  
A PROJECT  
A FACTORY  
A FACTORY  
MEMBER 054  
OUT ULTRA F



## □BYEDITディレクターの紹介



### 多田智美 Tomomi TADA

編集者

株式会社MUESUM代表／株式会社どく社共同代表

<http://muesum.org/> <https://dokusha.jp/>

#### [最近の仕事5つ]

| コクヨのヨコク研究所+MUESUM(弊社)+吉勝制作所によるリサーチ活動<GRASP>

<https://yokoku.kokuyo.co.jp/project/grasp/> <https://graspmates.site/>

| 50年以上続く奈良の福祉施設・たんぼぼの家のリクルートサイトの編集

<https://recruit.tanpoponoye.org/>

| 第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展に共同キュレーターとして参画

<https://venezia-biennale-japan.jpf.go.jp/j/architecture/2023>

| 大阪を誇る建築家集団ドットアーキテクト初の作品集の編集

<https://jp.toto.com/publishing/detail/A0400.htm>

| 『東京藝大の学生と教員が探る「文化的処方」の種

「I LOVE YOU」プロジェクト2023 ドキュメント』(東京藝術大学)の編集

<https://kyoso.geidai.ac.jp/detail.php?id=UdypR8OH>

#### [ハマっていること3つ]

| 天体望遠鏡を手に入れたので、ちょこちょこ屋上から月を眺めている

| 突然にかぎ針編みにハマリ、今では電車で座れなくても立ったまま編む人に

| 茶酔を体験して、中国茶や中国茶をめぐる道具たち



### 竹内厚 Atsushi TAKEUCHI

編集者、ライター

Re:S

<https://re-s.jp/>

#### [最近の仕事5つ]

| 月刊誌『SAVVY』で毎月関西のアーティストを取材する連載記事が80人目に

<https://www.lmagazine.jp/savvy/>

| 名古屋市の港まちで編集に携わってきた『ポットラック新聞』は20号に到達

[https://www.minnatomachi.jp/potluck\\_shinbun/index.html](https://www.minnatomachi.jp/potluck_shinbun/index.html)

| 住宅建築家38組のアトリエを訪ねての作品集制作(青幻舎・刊)

<https://www.seigensha.com/books/978-4-86152-952-8/>

| ごきげんなひとり住まいを探った『オトナのひとり住まい』本の編集

<https://www.a-crafts-event.com/ohohitohon>

| 豊岡市での豊岡演劇祭のウェブサイト編集

<https://toyooka-theaterfestival.jp/>

#### [気になっていること3つ]

| ラジオ番組から生まれるいい具合のコミュニティ感

| 数年前にここに書いたときは男のスカートでしたが、今の関心はネイルへ

| 鳥の鳴き声と飛んでいる姿のこと